

2020年10月21日

## 介護付有料老人ホームへの不動産投資について

### ～ヘルスケア施設への投資開始を通じてQOL向上に資する不動産投資を推進～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、兵庫県神戸市に所在する介護付有料老人ホーム「SOMPOケア ラヴィーレ六甲」に21億円の投資を行いましたので、お知らせします。本投資は、当社にとって初めてのヘルスケア施設<sup>1</sup>への不動産投資となります。

日本国内の傾向と同様に神戸市においても後期高齢者数の増加や介護ニーズの高まりが予想されており、民間企業の運営する介護付有料老人ホームに対する入居需要は安定的に推移することが見込まれます。また本物件の運営は、数多くの老人ホーム運営実績を有しており国内有数の介護サービス事業者であるSOMPOケア株式会社<sup>2</sup>が担うことから、当社は本投資により安定的かつ高い投資収益の獲得が期待できると考えています。



当社は、保有不動産ポートフォリオの中長期的な収益性・資産価値の向上やリスク分散の観点から、中核の投資対象である大規模オフィスに加え、賃貸マンションや商業施設・物流施設などへの分散投資に取り組んでいます。また、既存物件の取得に加え、再開発事業への参画など新規の不動産開発にも注力しています。今回のヘルスケア施設への投資は、これらの取組みの一環として実施するものです。

また日本国内では、高齢者の施設での介護ニーズが高まる一方、ヘルスケア施設の供給不足が課題となっています。当社はヘルスケア施設への投資開始により、新たな施設供給や既存施設の適切な維持・管理などを促進することを通じて、人々のQOL向上に貢献します。当社は今後も、QOL向上に資する不動産物件への投資に積極的に取り組んでいきます。

<sup>1</sup> 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などのシニア向け施設、病院やクリニックモールなどのメディカル施設の総称。

<sup>2</sup> SOMPOホールディングス株式会社傘下。当社は、同じくSOMPOホールディングス傘下の損害保険ジャパン株式会社と2001年に包括提携を行っており、様々な商品やサービスを相互のお客さまに提供しております。